

鳴門市水道事業中期経営計画

最終報告書

平成23年8月

鳴門市企業局

(水道事業)

目 次

1 最終報告について	1
2 事業計画及び実績	1
(1) 中期財政収支計画	1
① 収益的収支計画	1
② 資本的収支計画	3
③ 企業債残高	4
(2) 中期指標	5
(3) 給与の適正化に関する計画	6
(4) 将来需要予測	6
(5) 主要施策	6
(6) 設備投資計画	7
3 経営基盤強化への取組	7

1. 最終報告について

鳴門市水道事業は、少子高齢化社会の進展に伴う人口の減少や、企業活動における節水型事業への転換及び市民の節水意識の向上等により料金収入は減少傾向にあります。

このような状況のもと、平成18年度から平成22年度までの5年間の中期計画として「鳴門市水道事業中期経営計画」を策定しています。

今回、この計画の達成状況について、平成22年度決算（見込み）までの実績に基づき最終報告を行います。

2. 事業計画及び実績

(1) 中期財政収支計画

① 収益的収支計画（平成18年度～平成20年度）

(単位：千円)

項目	年度	18		19		20	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
経常収入	1. 営業収益	1,380,242	1,356,737	1,358,058	1,340,420	1,343,848	1,268,937
	(1) 給水収益	1,338,000	1,306,742	1,310,047	1,288,674	1,300,379	1,224,958
	(2) 受託工事収益	24,113	26,638	25,562	26,734	23,000	23,906
	(3) その他営業収益	2,469	3,197	2,469	2,812	2,469	2,403
	(4) 加入金	15,660	20,160	19,980	22,200	18,000	17,670
	2. 営業外収益	6,440	1,049	4,440	6,147	4,952	33,340
	(1) 補助金	-	-	-	-	-	-
	(2) その他	6,440	1,049	4,440	6,147	4,952	33,340
	収入合計	1,386,682	1,357,786	1,362,498	1,346,567	1,348,800	1,302,277
	経常支出	1. 営業費用	1,117,087	1,079,364	1,134,405	1,107,318	1,173,981
(1) 人件費		356,223	317,939	317,267	301,992	362,423	337,488
(2) 経費		390,824	408,247	439,795	442,220	431,371	447,670
(3) 減価償却費		359,040	350,585	360,343	356,624	363,187	363,334
(4) 資産減耗費		10,000	2,593	16,000	6,482	16,000	16,282
(5) その他予備費		1,000	-	1,000	-	1,000	-
2. 営業外費用		99,619	99,324	93,929	93,206	92,365	79,489
支出合計		1,216,706	1,178,688	1,228,334	1,200,524	1,266,346	1,244,263
収支差引(A)		169,976	179,098	134,164	146,043	82,454	58,014
特別損益		特別利益	100	3	100	484	100
	特別損失	4,834	3,763	5,120	29,596	2,000	3,543
	収支差引(B)	△4,734	△3,760	△5,020	△29,112	△1,900	△1,621
再差引(A) + (B) (C)	165,242	175,338	129,144	116,931	80,554	56,393	
前年度繰越利益剰余金(D)	3,926	3,927	9,168	9,264	8,363	6,195	
未処分利益剰余金(C) + (D)	169,168	179,265	138,312	126,195	88,917	62,588	

① 収益的収支計画（平成21年度～平成22年度）

（単位：千円）

項目		年度		21		22	
		計画	実績	計画	実績		
経常	収	1. 営業収益	1,343,848	1,248,863	1,343,848	1,243,098	
		(1) 給水収益	1,300,379	1,209,064	1,300,379	1,192,147	
		(2) 受託工事収益	23,000	22,627	23,000	29,526	
		(3) その他営業収益	2,469	2,622	2,469	5,765	
	入	(4) 加入金	18,000	14,550	18,000	15,660	
		2. 営業外収益	4,952	19,150	4,952	17,945	
		(1) 補助金	-	8,736	-	9,581	
		(2) その他	4,952	10,414	4,952	8,364	
		収入合計	1,348,800	1,268,013	1,348,800	1,261,043	
	損	支	1. 営業費用	1,151,884	1,072,603	1,161,821	1,076,676
			(1) 人件費	341,736	293,383	342,376	252,456
			(2) 経費	421,934	412,530	423,578	449,649
			(3) 減価償却費	371,214	362,342	378,867	371,591
			(4) 資産減耗費	16,000	4,348	16,000	2,980
(5) その他予備費		1,000	-	1,000	-		
出	2. 営業外費用	95,166	78,090	92,938	76,997		
	支出合計	1,247,050	1,150,693	1,254,759	1,153,673		
	収支差引(A)	101,750	117,320	94,041	107,370		
特別損益	特別利益	100	850	100	20		
	特別損失	2,000	1,947	2,000	2,404		
	収支差引(B)	△1,900	△1,097	△1,900	△2,384		
	再差引(A) + (B) (C)	99,850	116,223	92,141	104,986		
	前年度繰越利益剰余金(D)	1,945	2,588	1,645	8,811		
	未処分利益剰余金(C) + (D)	101,795	118,811	93,786	113,797		

② 資本的収支計画（平成18年度～平成20年度）

（単位：千円）

項目		年度		18		19		20	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績		
収入	1. 企業債	164,900	164,900	310,000	163,000	399,000	201,200		
	2. 国庫補助金	25,000	25,000	20,000	21,000	30,000	25,368		
	3. 負担金	7,500	6,548	34,000	23,890	10,000	17,875		
	4. 固定資産売却代	50	-	50	309	50	107		
	収入合計	197,450	196,448	364,050	208,199	439,050	244,550		
支出	1. 配水施設費	691,062	594,095	651,244	436,915	894,400	496,903		
	2. 機械器具費	8,350	6,010	17,600	11,680	8,000	5,968		
	3. メーター施設費	1,028	1,159	1,171	1,270	1,000	1,633		
	4. 企業債償還金	171,778	171,777	144,276	282,840	135,765	123,617		
	5. 長期貸付金	-	-	300,000	300,000	-	-		
	6. その他	200	-	200	-	200	1,000		
	支出合計	872,418	773,041	1,114,491	1,032,705	1,039,365	629,121		
収支差引		△674,968	△576,593	△750,441	△824,506	△600,315	△384,571		
補填財源	1. 過年度分損益勘定留保資金	278,388	278,388	169,689	227,016	-	18,772		
	2. 当年度分 "	194,351	126,162	375,343	342,492	378,187	219,783		
	3. 利益剰余金処分別	171,778	146,377	175,164	236,439	180,767	123,617		
	4. 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	30,451	25,666	30,245	18,559	41,361	22,399		
	計	674,968	576,593	750,441	824,506	600,315	384,571		
再差引		-	-	-	-	-	-		

② 資本的収支計画（平成21年度～平成22年度）

（単位：千円）

項目		年度		21		22	
		計画	実績	計画	実績		
収入	1. 企業債	275,000	208,800	262,000	402,600		
	2. 国庫補助金	30,000	34,882	-	42,000		
	3. 他会計補助金	-	8,046	-	700		
	4. 負担金	10,000	1,089	10,000	11,147		
	5. 固定資産売却代	50	236	50	-		
収入合計		315,050	253,053	272,050	456,447		
支出	1. 配水施設費	804,100	609,165	570,300	574,209		
	2. 機械器具費	8,000	6,348	8,000	5,321		
	3. メーター施設費	1,000	724	1,000	2,338		
	4. 企業債償還金	143,181	128,781	128,014	389,818		
	5. 長期貸付金	-	-	-	-		
	6. その他	200	-	200	2,869		
支出合計		956,481	745,018	707,514	974,555		
収支差引		△641,431	△491,965	△435,464	△518,108		
補填財源	1. 過年度分損益勘定留保資金	-	158,950	-	77,785		
	2. 当年度分 "	386,214	288,168	309,536	373,573		
	3. 利益剰余金処分別	218,156	19,181	100,000	40,919		
	4. 消費税及び地方消費税資本的収支調整額	37,061	25,666	25,928	25,831		
	計	641,431	491,965	435,464	518,108		
再差引		-	-	-	-		

③ 企業債残高

(単位：千円)

残 高	年 度	18		19		20	
		計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
総 額		2,130,065	2,130,065	2,295,789	2,010,225	2,559,026	2,087,808
(うち旧資金運用部資金)		(1,443,989)	(1,443,988)	(1,353,003)	(1,277,782)	(1,275,113)	(1,212,785)

残 高	年 度	21		22	
		計 画	実 績	計 画	実 績
総 額		2,690,845	2,167,827	2,824,831	2,180,609
(うち旧資金運用部資金)		(1,193,011)	(1,188,526)	(1,106,447)	(900,114)

中期財政収支計画について計画と実績を比較すると、①収益的収支計画の収入については、営業収益が計画以上に減少していますが、給水人口の減少及び節水意識の高まり等によるものです。今後も、人口の減少傾向は変わらないと考えられることなどから、水需要の増加を見込むことは難しい情勢です。

次に費用のうち、営業費用はコスト意識の徹底等により、計画を上回る削減となりました。また、営業外費用では、平成19年度及び平成22年度に高金利の企業債を繰上償還したことにより、支払利息を抑えることができました。しかし、平成19年度及び平成20年度には費用の節減額よりも収益の減少額が上回ったことから、当期純利益が計画よりも下回る結果となりましたが、平成21年度以降は、支出の抑制に努め、当期純利益は計画を上回る結果となりました。

②資本的収支計画については、計画の変更や建設改良工事の繰り越しになどにより、平成21年度までは収入支出ともに計画を下回っています。また、平成19年度及び平成22年度には、前述したとおり支払利息の軽減を目的とした公的資金補償金免除繰上償還を行いました。このため、平成22年度には、収入支出とも計画を上回る結果となりました。

(2) 中期指標

(単位：千円)

項目	18		19		20		備考
	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
経常収支比率	113.5%	115.2%	110.5%	112.2%	106.4%	104.7%	経常収益/経常費用
営業収支比率	124.1%	124.2%	120.2%	122.1%	114.8%	109.9%	(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費用)
不良債務比率	-	-	-	-	-	-	(流動負債-(流動資産-翌年度繰越財源))/(営業収益-受託工事収益)
累積欠損金比率	-	-	-	-	-	-	累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)
職員一人当たり給水収益	49,556	48,398	46,787	42,956	46,442	40,832	給水収益/損益勘定職員数
1 m ³ 当たり販売利益	28.39	15.70	26.42	11.93	21.89	1.34	供給単価-給水原価
供給単価(収益)	130.16	129.28	128.96	128.90	129.53	127.99	給水収益/有収水量
給水原価(費用)	101.76	113.58	102.54	116.97	107.65	126.65	(経常費用-(受託工事費+その他営業費用))/有収水量
管路更新率	1.09%	1.52%	1.10%	1.36%	1.10%	1.70%	年間更新延長/水道管総延長
ダクタイル鋳鉄管鋼管率	68.9%	70.2%	70.2%	71.1%	71.5%	72.5%	ダクタイル鋳鉄管+鋼管延長/水道管総延長
管路の事故割合	18.7	13.6	18.4	25.0	18.1	27.1	件/100km
うち鉄製管路	6.7	6.7	6.6	4.3	6.5	11.6	件/100km
うち非鉄製管路	12.0	32.1	11.8	77.2	11.6	72.3	件/100km
給水管の事故割合	17.3	11.0	17.1	11.3	16.9	18.3	件/1,000件
配水管延長密度	6.2	6.2	6.3	6.2	6.4	6.2	km/km ²
水道メータ密度	49.3	49.2	49.2	49.2	49.1	48.8	個/km

(単位：千円)

項目	21		22		備考
	計画	実績	計画	実績	
経常収支比率	108.0%	110.2%	107.3%	109.3%	経常収益/経常費用
営業収支比率	117.0%	117.8%	116.0%	116.5%	(営業収益-受託工事収益)/(営業費用-受託工事費用)
不良債務比率	-	-	-	-	(流動負債-(流動資産-翌年度繰越財源))/(営業収益-受託工事収益)
累積欠損金比率	-	-	-	-	累積欠損金/(営業収益-受託工事収益)
職員一人当たり給水収益	48,162	44,780	48,162	44,154	給水収益/損益勘定職員数
1 m ³ 当たり販売利益	23.97	9.52	23.37	7.85	供給単価-給水原価
供給単価(収益)	129.53	127.50	129.53	127.23	給水収益/有収水量
給水原価(費用)	105.56	117.98	106.17	119.38	(経常費用-(受託工事費+その他営業費用))/有収水量
管路更新率	1.10%	2.13%	1.11%	1.55%	年間更新延長/水道管総延長
ダクタイル鋳鉄管鋼管率	72.8%	77.2%	73.1%	77.7%	ダクタイル鋳鉄管+鋼管延長/水道管総延長
管路の事故割合	17.8	18.2	17.5	24.8	件/100km
うち鉄製管路	6.4	4.7	6.3	5.0	件/100km
うち非鉄製管路	11.4	13.5	11.2	19.8	件/100km
給水管の事故割合	16.7	10.5	16.5	16.3	件/1,000件
配水管延長密度	6.5	6.3	6.5	6.3	km/km ²
水道メータ密度	49.0	50.0	48.9	49.8	個/km

(3) 給与の適正化に関する計画

	実 施 内 容	実施年度
特 殊 勤 務 手 当 の 適 正 化	業務の実体により支給対象・支給基準を見直した	平成18年度
管 理 職 手 当 の 減 額	30%削減	平成18年度から平成22年度

鳴門市全体の取り組みに合わせて、給与の適正化を推進します。

(4) 将来需要予測

項 目	年 度	18		19		20	
		計 画	実 績	計 画	実 績	計 画	実 績
1. 人 口 (人)		64,131	64,318	64,000	63,903	64,000	63,407
2. 給 水 人 口 (人)		64,057	64,243	63,926	63,828	63,926	63,332
3. 普 及 率 (%)		99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
4. 配 水 管 施 行 延 長 (m)		7,251	7,538	7,136	7,272	6,179	8,836
5. 配 水 能 力 (m ³ /日)		56,850	56,850	56,850	56,850	56,850	56,850
6. 年 間 配 水 量 (m ³)		11,500,000	11,880,724	11,335,969	12,107,249	11,129,517	11,748,372
7. 1 日 最 大 配 水 量 (m ³)		42,000	41,082	41,500	40,378	41,000	38,549
8. 年 間 有 収 水 量 (m ³)		10,280,000	10,107,609	10,158,695	9,997,608	10,038,824	9,570,471
9. 有 収 率 (%)		89.4	85.1	89.6	82.6	90.2	81.5

項 目	年 度	21		22	
		計 画	実 績	計 画	実 績
1. 人 口 (人)		64,000	63,105	64,000	62,586
2. 給 水 人 口 (人)		63,926	63,030	63,926	62,511
3. 普 及 率 (%)		99.9	99.9	99.9	99.9
4. 配 水 管 施 行 延 長 (m)		11,068	11,786	6,766	8,622
5. 配 水 能 力 (m ³ /日)		56,850	56,850	56,850	56,850
6. 年 間 配 水 量 (m ³)		11,055,974	11,195,533	10,983,396	11,127,323
7. 1 日 最 大 配 水 量 (m ³)		40,000	35,715	40,000	37,079
8. 年 間 有 収 水 量 (m ³)		10,038,824	9,482,586	10,038,824	9,370,238
9. 有 収 率 (%)		90.8	84.7	91.4	84.2

(5) 主要施策

	施 策 名	計 画	内 容 (理 由)
1	石綿管の布設替事業	平成18年度から平成21年度	国庫補助金を活用しながら継続的に実施し平成21年度に完了した H18 7,394m H19 6,445m H20 7,342m H21 9,787m
2	その他老朽管路の布設替事業	平成18年度から実施	铸铁管やVP管の布設替えを実施 H18より実施
3	水道施設の耐震対策事業	平成19年度から実施	浄水場管理棟耐震補強工事を実施した H19 実施設計 H20 工事着工 H21工事完了
4	検針・集金・滞納整理業務の民間委託	平成18年度から実施	サービスの向上及び業務の効率化を図った H18 実施済
5	窓口業務の民間委託	平成19年度から実施	サービスの向上及び業務の効率化を図った H19 実施済
6	コンビニ収納の導入	平成19年度から実施	全国の提携コンビニで収納が可能になった H20 実施済

(6) 設備投資計画

(単位：千円)

項目	年度	18		19		20	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績
石綿管の布設替え		584,928	333,550	255,465	272,705	400,000	284,376
铸铁管の布設替え		-	26,533	25,600	46,323	60,000	28,401
水管橋の更新		17,960	-	28,000	6,185	50,000	28,187
鉛給水管の更新		20,000	-	37,700	-	37,700	-
水道各施設の耐震補強工事		-	-	-	2,500	110,000	63,695
緊急遮断弁の設置		22,680	10,190	2,000	12,490	-	-

項目	年度	21		22	
		計画	実績	計画	実績
石綿管の布設替え		483,000	331,980	-	-
铸铁管の布設替え		60,000	104,230	60,000	418,472
水管橋の更新		50,000	1,181	50,000	8,192
鉛給水管の更新		37,700	-	37,700	-
水道各施設の耐震補強工事		50,000	186,544	50,000	-
緊急遮断弁の設置		60,000	-	90,000	-

3. 経営基盤強化への取組

①民間委託の導入

平成18年度より検針・集金・滞納整理業務について民間委託を導入しました。また、平成19年度からはこの業務委託に加えて、窓口業務を含めた包括的な民間委託を導入しました。

②未収金徴収対策

過年度未収金徴収対策として、上記委託業者と連携し、給水停止の強化に取り組みました。その他、当年度未収金徴収についても督促状・催告状の発送等事務サイクルを定め、当年度未収金の抑制に取り組みました。

③サービスの向上

平成20年度より全国の提携コンビニエンスストアで水道料金の納付が行える制度を導入しました。

④支払利息の軽減

平成19年度に高金利（7%以上）企業債の繰上償還を実施したことにより、平成20年度8,744千円（繰上償還前の償還期限平成24年までの総額21,552千円）の支払利息の軽減につながりました。

また、平成22年度には、高金利（旧資金運用部資金6.3%以上、旧公営企業金融公庫資金6.0%以上）企業債について繰上償還を実施し、市中銀行において低金利に借換を行った結果、平成32年度までに総額78,968,667円の支払利息の軽減につながりました。

以上のとおり最終報告を公表いたします。